

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 30 日 (2021.9.30)

【公表番号】特表 2020-532534 (P2020-532534A)

【公表日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【年通号数】公開・登録公報 2020-046

【出願番号】特願 2020-512441 (P2020-512441)

【国際特許分類】

C 07K 7/06 (2006.01)

C 07K 7/08 (2006.01)

C 07K 14/00 (2006.01)

A 61K 39/00 (2006.01)

A 61P 37/04 (2006.01)

A 61P 43/00 (2006.01)

A 61K 47/54 (2017.01)

A 61K 39/39 (2006.01)

A 61P 35/00 (2006.01)

A 61P 31/06 (2006.01)

A 61P 1/16 (2006.01)

A 61P 29/00 (2006.01)

A 61P 31/16 (2006.01)

A 61P 31/04 (2006.01)

A 61P 31/12 (2006.01)

C 07C 323/60 (2006.01)

【F I】

C 07K 7/06 Z N A

C 07K 7/08

C 07K 14/00

A 61K 39/00 H

A 61P 37/04

A 61P 43/00 1 1 1

A 61K 47/54

A 61K 39/39

A 61P 35/00

A 61P 31/06

A 61P 1/16

A 61P 29/00

A 61P 31/16

A 61P 31/04

A 61P 31/12

C 07C 323/60 C S P

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 17 日 (2021.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

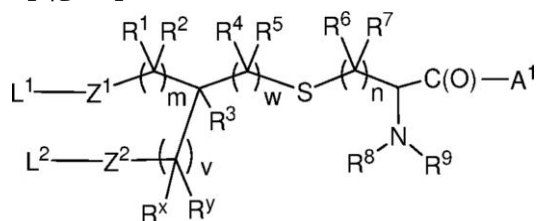
【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

【化 1】



(I)

(c) X a a₁は不在であるか、Sであり、及びX a a₂は不在であるか、1～4個の親水性アミノ酸である、配列X a a₁X a a₂L Q Q L S L L M W I T Q X a a₂₂F L P V F L A Q P P S G Q R R [配列番号：3]からの8個以上の連続するアミノ酸残基、

(d) 配列 S K K K K L Q Q L S L L M W I T Q X a a₂₂ F L P V F L A Q P P S G Q R R [配列番号 : 4] からの 8 個以上の連続するアミノ酸残基、

(e) 配列番号 : 1 ~ 4 のいずれか 1 つの配列、

(f) 配列 L Q Q L S L L M W I T Q X a a₂₂ F L P V F L A Q P P S G Q R R [配列番号 : 5] からの 8 個以上の連続するアミノ酸残基、

(g) 配列番号 : 5 の配列、

(h) 配列 S L L M W I T Q X a a₂₂ F L P V F [配列番号 : 6] からの 8 個以上の連続するアミノ酸残基、

(i) 配列番号 : 6 の配列、

(j) 配列 S K K K K S L L M W I T Q X a a₂₂ [配列番号 : 7] からの 8 個以上の連続するアミノ酸残基、

(k) 配列番号 : 7 の配列、

(l) 配列 S L L M W I T Q X a a₂₂ [配列番号 : 8] からの 8 個以上の連続するアミノ酸残基、

(m) 配列番号 : 8 の配列、

(n) または前記 (a) ~ (m) のうちの 2 つ以上の任意の組合せ、

(ここで、それぞれの配列中の X a a₂₂ は、独立して、C を除く任意の天然に存在するアミノ酸 (例えば、V、I、または L) であり、前記配列のいずれかからの 8 個以上の連続するアミノ酸残基の任意の配列が、X a a₂₂ を含む) ;

を含むか、実質的にそれらからなるか、それらからなるペプチドであり ; もしくは

(2) m は、3 ~ 7 の整数であり、R 9 及び A 1 の少なくとも 1 つはアミノ酸またはペプチドである、

ことを条件とする、

化合物。

【請求項 2】

R 9 及び A 1 の少なくとも 1 つが、請求項 1 の条件 (1) に規定されるとおりの群れから選択される 1 つ以上のアミノ酸配列を含むか、実質的にそれらからなるか、それらからなるペプチドである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

m が、3 ~ 7 の整数であり、R 9 及び A 1 の少なくとも 1 つは、請求項 1 の条件 (2) に規定されるとおりのアミノ酸またはペプチドである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 4】

R 9 及び A 1 の少なくとも 1 つが、ペプチドであり、ペプチドが、配列番号 8 ~ 129 のいずれか 1 つのアミノ酸配列の 8 個以上の連続するアミノ酸からなる群から選択されるアミノ酸配列を含むか、実質的にそれらからなるか、それらからなるか、あるいは、ペプチドが、請求項 1 の条件 (1) に規定される群れから選択される 1 つ以上のアミノ酸配列を含むか、実質的にそれらからなるか、それらからなる、請求項 3 に記載の化合物。

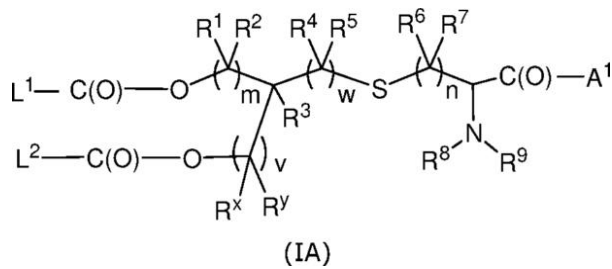
【請求項 5】

Z 1 及び Z 2 が、それぞれ独立して、- C (O) O -、- C (O) N R -、及び - C (O) S - からなる群から選択される、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 6】

前記化合物が、下記式 (I A) の化合物である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の化合物 :

【化 2】



【請求項 7】

w が、1 または 2 であり、そして / あるいは、n が、1 であり、そして / あるいは、v が、0 ~ 3 である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 8】

L 1 及び L 2 が、それぞれ独立して、C 5 ~ 21 アルキル、好ましくは線状 C 15 アルキルであり、そして / あるいは、L 3 が、メチルまたは線状 C 15 アルキル、好ましくはメチルである、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の化合物。

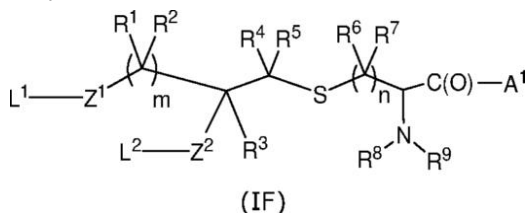
【請求項 9】

R 1 及び R 2 が、m の各場合において、それぞれ独立して、C 1 ~ 6 アルキルまたは水素、好ましくは水素であり、そして / あるいは、R 3 が、C 1 ~ 6 アルキルまたは水素、好ましくは水素であり、そして / あるいは、R 4 及び R 5 が、w の各場合において、それぞれ独立して、C 1 ~ 6 アルキルまたは水素、好ましくは水素であり、そして / あるいは、R x 及び R y が、v の各場合において、それぞれ独立して、C 1 ~ 6 アルキルまたは水素、好ましくは水素であり、そして / あるいは、R 6 及び R 7 が、n の各場合において、それぞれ独立して、C 1 ~ 6 アルキルまたは水素、好ましくは水素であり、そして / あるいは、R 8 が、独立して、C 1 ~ 6 アルキルまたは水素、好ましくは水素であり、そして / あるいは、R 9 が、C 1 ~ 6 アルキル、水素、アミノ保護基、L 3 - C (O)、または A 2、好ましくは水素、アミノ保護基、L 3 - C (O)、または A 2 である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 10】

化合物が、下記式 (I F) の化合物

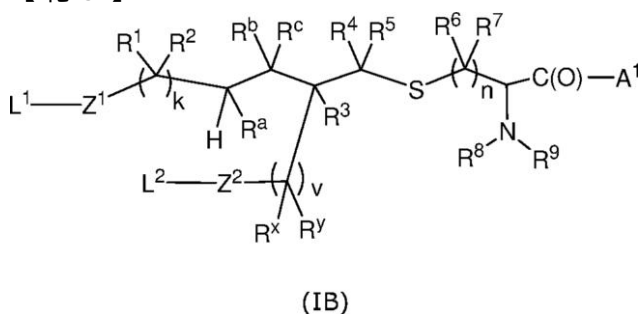
【化 3】



または

下記式 (I B) の化合物：

【化 5】



(式中、

k は、0 ~ 4 の整数、好ましくは 0 ~ 3 であり；

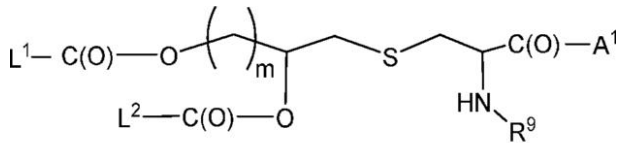
R a、R b、及び R c は、それぞれ独立して、水素または C 1 ~ 6 脂肪族、好ましく

は水素または C 1 ~ 6 アルキル、好ましくは水素である) である、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 1 1】

化合物は、下記式 (I D - 1) の化合物である、請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の化合物：

【化 7】

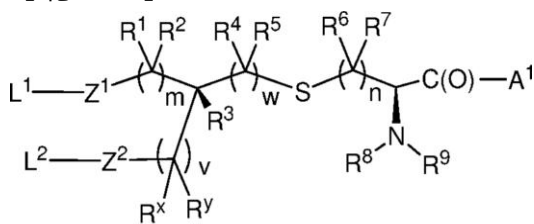


(ID-1)

【請求項 1 2】

前記化合物は、下記式 (I E - 1)：

【化 1 0】

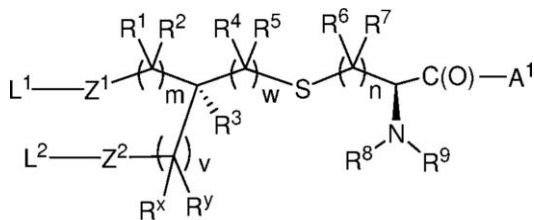


(IE-1)

を有するか、あるいは

下記式 (I E - 2)：

【化 1 1】



(IE-2)

を有する、請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 1 3】

脂質部分が接合されているペプチド接合体のアミノ酸が、N - 末端アミノ酸残基であり、そして / あるいは、A 1 が、セリンまたは第 1 の N - 末端アミノ酸残基としてセリンを含むペプチドである、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 1 4】

有効量の請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載のペプチド接合体化合物またはその薬学的に許容可能な塩もしくは溶媒和物、及び薬学的に許容可能な担体を含む、薬学的組成物。

【請求項 1 5】

対象にワクチンを接種するか免疫応答を誘発するか、あるいは T L R 2 を活性化する方法における使用のための、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の 1 つ以上のペプチド接合体化合物またはその薬学的に許容可能な塩もしくは溶媒和物、または請求項 1 4 に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 6】

対象にワクチンを接種するか免疫応答を誘発するか、あるいは T L R 2 を活性化するための薬学的組成物の製造における、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の 1 つ以上のペプチド接合体化合物またはその薬学的に許容可能な塩もしくは溶媒和物の使用。